

2001年7月15日発行

ちなみに、  
活火山、浅間山の  
ふもとにある軽井沢の  
土は酸性です。



## 「軽井沢の土壌は、 軽井沢に咲いている 野草には合っている」

(軽井沢町植物園園長 佐藤邦雄先生の言葉)

「野草の花を増やしたいが、どんな土がいいでしょうか？」と時々聞かれます。その答えが、右のタイトルです。「われもこうの会」のこれまでの経験からも、正しい！「あんな土地には何も育たないよ！」といわれた「前沢の原っぱ」にも、毎年、マツムシソウやアサマキスゲが咲くようになりました。

野草は、毎年、落ち葉を取り去ってしまうような「貧栄養の土地」に適應して自分達の子孫を残してきた、したたかな生き物です。だから植物が生えている土ならばどんな土でも平気です。問題はその野草が湿気を好むのか、より日当たりのいい乾いた土地を好むのか、です。わからない時は図鑑で確認しましょう。

あたりまえの  
ようにすが...



【植物が育っていない土を、植物が育つ良い土へ変身させるには...】

雑草など刈った物を集めて重ね寝かせる。あるいは落ち葉(あれば油粕ほんの少し)を土にすき込む。そして何か植物を植えておく。ミミズがあらわれたらもう安心。ミミズが、土を耕してくれます。すぐに上等な土の出来上がり!! お試しあれ。

野草向きの

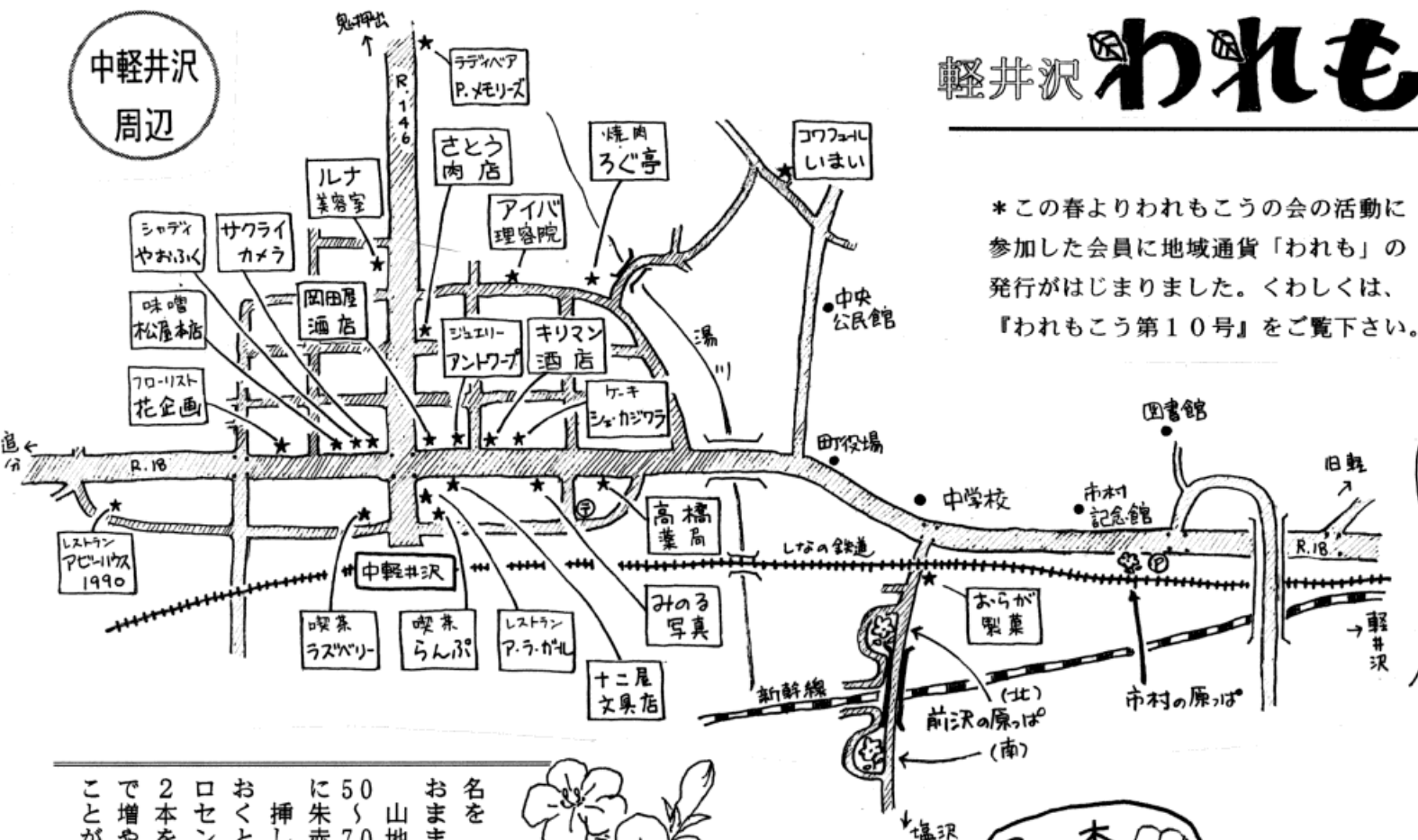
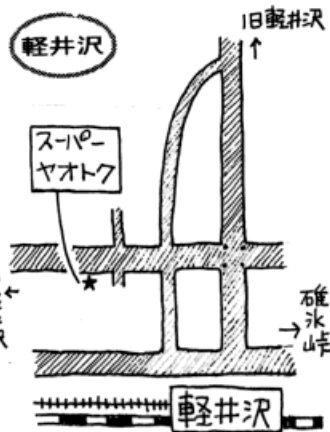


# 軽井沢 われも MAP

中軽井沢  
周辺

地域通貨「われも」がつかえるお店です

\*この春よりわれもこの会の活動に参加した会員に地域通貨「われも」の発行がはじまりました。くわしくは、『われもこう第10号』をご覧ください。



この本 おすすお! 『みみずのカーロ』

～シェーファー先生の自然の学校～  
今泉みね子著 (合同出版)

ミミズの「カーロ」が食べて土に返せるものと、返せないもの。この本は、子供たちが小学校の教室で飼っている一匹のミミズを通して、土に還らないものがゴミだということを体験し学んでいくお話です。

シェーファー先生は、はじめから「こうなんだ」と理屈を言いません。実際に「カーロ」を観察しながら自然の中で必要な物と、使わないほうがいい物を考えさせ、次にどうしたらいいのか答えを自分自身で出せるように導きます。

大人が読んでもドキッとしたり、うなずくことの多い一冊です。



軽井沢の貴重植物

## フシダグロセンノウ

ナデシコ科センノウ属



節が黒褐色にふくらむので「節黒仙翁」の和名となりました。またの名を「おせんばな」、昔は花をお膳に見立ておままごと遊びをしたそうです。

山地や高原の林縁にはえる多年草で、茎は50〜70センチの高さ。7月〜9月、茎の頂きに朱赤色の花を開きます。

挿し芽繁殖が容易で、生け花にして置いておくと1週間ほどで発根します。山でフシダグロセンノウを見つけても株ごと掘らず、1〜2本を切って生け花で楽しみ、その後挿し芽で増やせば、少なくとも自生地を保護することが出来ます。

(参考) 講談社園芸大百科事典



## 原っぱに集合！

野の花の世話をした後は  
ホッと一息、ティータイムを楽しみましょう。

＜8月から11月のスケジュール＞

8月19日(日) \*午後3:00~4:00

9月5日(水) 16日(日)

10月3日(水) 21日(日)

11月7日(水) 18日(日)

時間/午後1:30~3:30

\*ただし、8月19日は3:00からです。

集合場所/水曜日は市村の原っぱ

日曜日は前沢の原っぱ(北)

\*活動の内容や天候によって

変更する場合があります。

### ◆会員の声

洋花好きの私が、  
皆様のおかげで  
最近野の草花や  
山野草に関心を  
持ちました。

(H. S)



## 「われもこうの会」会員募集

年会費は一般2000円

65歳以上と学生(小・中・高)は500円

\*ただし、小学生の加入は「親子会員制度」が適用されます。

(親-2000円、子-500円です。)

また活動の参加は、保護者同伴が条件です。

会費の納入は便利な郵便振替口座で！

口座NO. 00500-9-71948

口座名称 われもこうの会

(今年度分の会費未納の方もご利用下さい。)

十二屋文具店でも会費納入できます。



「われもこう」に原稿をお寄せ下さい。

たとえば、「最近見かけなくなった野の花の思い出」とか。

「この夏巡り会った野の花のある風景」とか。

テーマは自由。ご意見、質問なども待ってま〜す！

